



2025年2月14日

各 位

上場会社名 株式会社ロイヤルホテル
代 表 者 代表取締役社長 植田 文一
(コード番号 9713 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部長 福田 和師
(TEL 06-6448-1121)

中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月13日に2025年3月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を公表し、その計画の達成へ向けて取り組みを推進して参りましたが、足元の経営環境の変化を踏まえ、中期経営計画を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 修正の背景

当社は、ホテル開業100周年を迎える2035年に目指す姿として、「RIHGA VISION2035」を策定し、そのPHASE1として、2025年3月期を初年度とする3ヶ年を対象とした中期経営計画2026「ReRISE」を策定し、新たな成長に向けた基盤強靱化に資する諸施策を実行して参りました。その中で、新たに4ホテルの開業を予定することとなった他、2024年11月11日「株式会社芝パークホテルとの資本業務提携契約締結および子会社化に関するお知らせ」にて公表した株式会社芝パークホテルが2024年11月29日に当社グループに加わったこと等、前提条件となる経営環境が大きく変化しました。このような状況の中、株式会社芝パークホテルの子会社化に伴う連結業績への影響額が判明したことや足許の外部環境の変化等も踏まえ、中期経営計画に掲げる数値目標の見直しを行うことといたしました。

2. 修正の内容

当初計画

	2024年度	2026年度
売上高	23,100百万円	27,000百万円
営業利益	700百万円	1,000百万円
営業利益率	3.0%	3.7%

修正後計画

	2024年度	2025年度	2026年度
売上高	25,100百万円	29,200百万円	32,000百万円

営業利益	900 百万円	900 百万円	1,200 百万円
営業利益率	3.6%	3.1%	3.8%
経常利益	800 百万円	900 百万円	1,200 百万円
当期純利益	1,800 百万円	400 百万円	700 百万円

詳細につきましては説明資料「中期経営計画 2026「ReRISE」の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上



RIHGA ROYAL HOTELS

中期経営計画2026「ReRISE」 の修正に関するお知らせ

2025年2月14日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713

agenda

株式会社ロイヤルホテル

中期経営計画2026「ReRISE」の修正に関するお知らせ



1. 修正の理由及び修正後の定量目標について
2. 芝パークホテルとのシナジー創出への取り組み
3. 中期経営計画の取り組み状況
4. Appendix

1. 修正の理由及び修正後の定量目標について

修正の理由

- ① 2024年11月に子会社化した(株)芝パークホテルの連結業績への影響額を反映。
2024年度業績への寄与は2024年10月からの6ヵ月分。また同社連結に伴う負ののれんに関連する特別利益を計上予定。
- ② 2026年春オープン予定のホテル開業費用を含めた成長投資額の精査および足許外部環境の変化を反映。
2025年度計画は2ホテル開業費5億円を含む。2026年度は新規ホテルの収益も取込み営業利益1,200百万円を目指す。

中期経営計画「ReRISE」最終年度の数値目標

単位：百万円

	修正前		修正後				
	2024年度	2026年度	2024年度	増減	2025年度	2026年度	増減
売上高	23,100	27,000	25,100	+2,000	29,200	32,000	+5,000
営業利益	700	1,000	900	+200	900	1,200	+200
営業利益率	3.0%	3.7%	3.6%	+0.6%	3.1%	3.8%	+0.1%
経常利益	-	-	800	+500*	900	1,200	-
当期純利益	-	-	1,800	+1,700*	400	700	-

※「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の2025年3月期の連結業績予想対比の増減値

2. 芝パークホテルとのシナジー創出への取り組み

|| PMI※推進委員会を立ち上げ、事業・ガバナンス・人事等各セクションでのシナジー創出を推進中。

|| ロイヤルホテルから2名の役員派遣とITインフラ整備により、スムーズな情報連携体制を構築。

※ポスト・マージャー・インテグレーション（Post Merger Integration）：M&A実施後の統合プロセスを指す。

取り組み状況

顧客・エリア 基盤

- リーガメンバーズのポイント制度加入に向けシステムを開発中、2025年春頃加入予定。
- 従来手薄であった欧州を中心に複数の海外展示会への共同出展を計画中（2025年夏頃～）。
- ロイヤルホテルの法人顧客基盤に対して芝パークホテルでの宴会需要取り込み協業開始予定。

人材

- 芝パークホテルに常駐取締役2名派遣。PMIの効率的な推進とシナジー創出の促進を図る。
- 当社の各種会議体への参加を年始より開始、経営面・営業面での融和を加速。

その他

- 共同購買によるコスト削減、効率化の検討。
- 芝パークホテルも加えたセールスツール（パンフレット、法人向けWebサイト等）を整備。
- 「食のロイヤル」×「北京」※での新たな展開（外販事業、新店舗、共同イベント等）を協議。

※創業1960年、日本のホテル内初の高級中国料理レストランとして芝パークホテルが運営。長年、明星中華麺「中華三昧」の監修も行う。

3. 中期経営計画の取り組み状況

リーガロイヤルホテル（大阪）リブランド改装進捗（2025年4月リニューアルオープン）

- IHGホテルズ&リゾーツのコレクションブランドである「リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエット コレクション」としてのリニューアルオープンに向け、ハード面を全面的に刷新。（工事は予定通り順調に進行中）
- 2025年4月に開幕する大阪・関西万博を見据えてインバウンドをはじめとする宿泊需要を取り込み、リーガロイヤルホテルグループの収益の最大化を図る。

ホテルメインロビー改装（2024年11月1日）



「All Day Dining REMONE」改装（2024年12月1日）



クラブフロア専用「ロイヤルラウンジ」改装（2024年12月17日）



新規ホテル開業への 取り組み

- 5件の意向表明を提出し、新規ホテル出店に関して協議中。既にリリースしている新規4ホテルに続けて、地域特性やターゲットに柔軟に対応した魅力的なホテル展開を目指す。

4. Appendix 中期経営計画2026「ReRISE」の位置づけ

|| 来たるべきホテル開業100周年にあたり、「RIHGA VISION 2035」を策定し、持続的成長を目指す。

|| 今期から3年間は「RIHGA VISION 2035」の実現に向け、経営基盤・事業基盤の強靱化を行う「ReRISE」期と位置付け、中期経営計画2026を推進する。

RIHGA VISION 2035



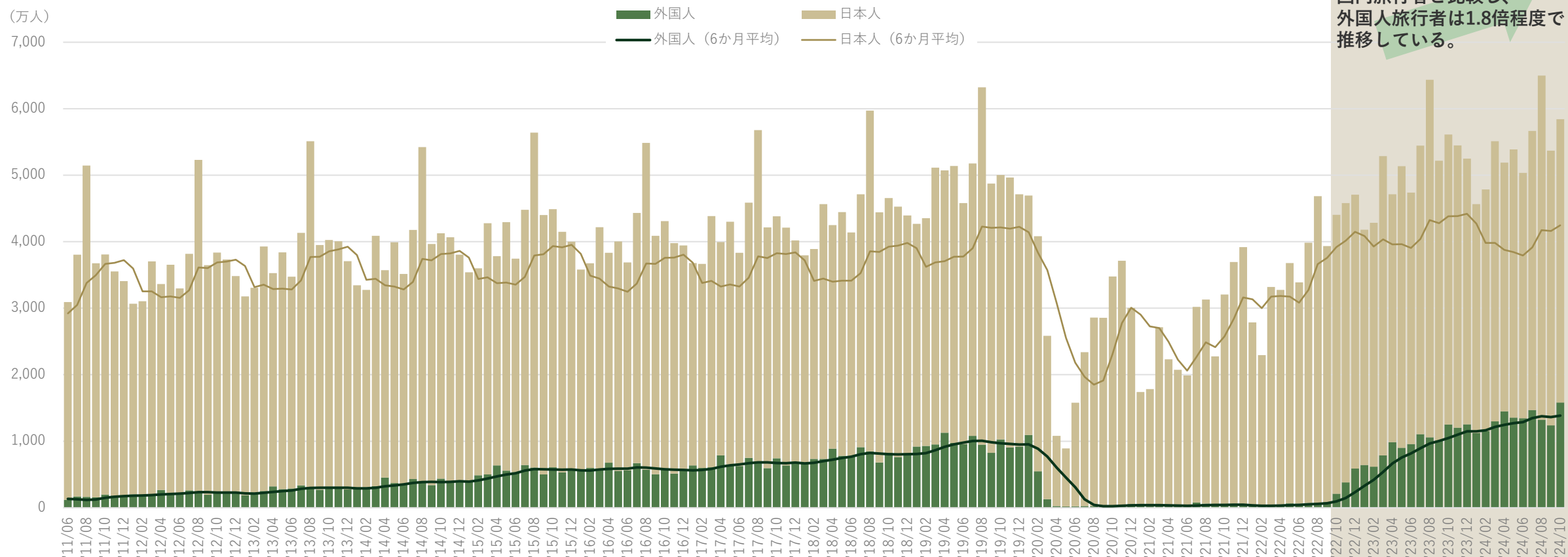
4. Appendix 外国人旅行者数 | 長期推移

|| 年間宿泊旅行者延べ泊数は、全国で約617百万人泊、うち訪日外国人旅行者は約118百万人泊（2023年）。

|| 全国規模で見ると、平均的には国内客：海外客＝8:2程度。足許（2024年10月）は国内客：海外客＝75:25程度。

|| 各ホテルにて外国人宿泊者比率をKPIとして設定。インバウンド需要の取込み意識を強化。

延べ宿泊者数推移（全国）



(観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成)

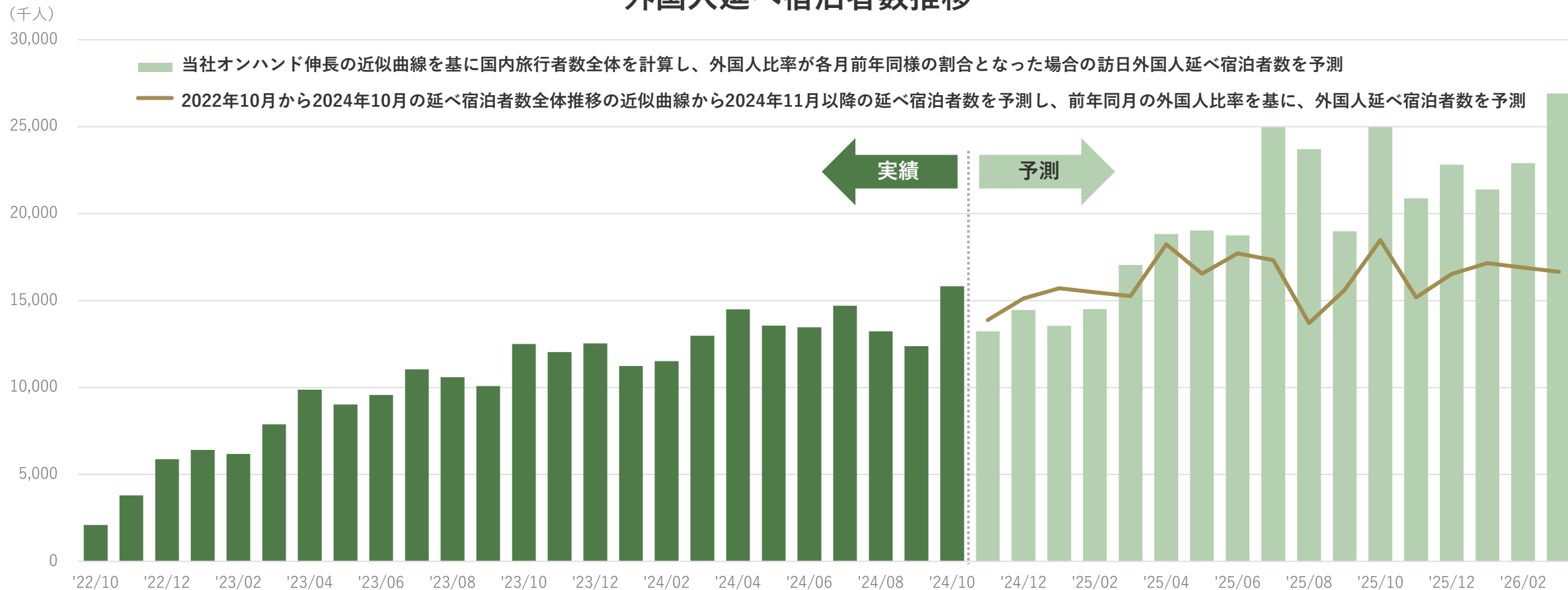


4. Appendix 外国人旅行者数 | 当社実績をベースとした来期予測

|| 2025年1月18日時点での2025年10月までのオンハンド（先予約数）と前年同期比の状況を比較すると、概ね1.2～1.5倍程度で推移している。

|| 今後も外国人宿泊者需要は伸長するものと予想され、インバウンド事業部の活動や芝パークホテルとの連携により需要取り込みを強化。

外国人延べ宿泊者数推移



(観光庁「宿泊旅行統計調査」及び当社資料より作成)